

第7回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

次 第

開 会 の 辞
 会 長 挨 拶
 来 賓 挨 拶
 表 彰
 総会運営委員会報告
 議 長 選 出
 総 会 職 員 任 命
 議 事
 報 告

第1号議案 平成29年度 事業報告 (案)
 第2号議案 平成29年度 決算報告 (案)
 第3号議案 平成29年度 監査報告
 第4号議案 名誉会員の承認
 第5号議案 その他
 平成29年度 補正予算 報告
 平成30年度 事業計画・予算 報告

閉 会 の 辞

第7回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

平成29年度事業報告（案）

平成 29 年度事業報告 (案)

1. 総括

2019 年の全国大会へ向けて準備を始めていく段階に入りました。会員が誇れる全国大会になるよう、思考をこらして企画してまいります。平成 28 年度の反省点を踏まえ、全国大会の基盤を作る年でもあると思います。

平成 29 年度の主な出来事

(1) 一般

- ①築地市場豊洲移転問題で、移転が決定
- ②プレミアムフライデー
- ③中学生のプロ棋士が 29 連勝
- ④日系英国人のカズオ・イシグロがノーベル文学賞
- ⑤トランプ大統領初訪日
- ⑥日経平均株価が 25 年 10 ヶ月ぶりに 2 万 2937 円
- ⑦ビットコイン高騰

(2) 医療

- ①時間外労働規制など、医療従事者の働き改革をめぐる動き
- ②聖路加国際病院名誉院長、日野原重明氏、105 歳で逝去
- ③アナウンサー小林麻央さん死去
- ④医師の地域偏在診療科偏在に対する対策の動き
- ⑤国際医療福祉大学医学部一期生入学
- ⑥オプチャーボ、胃がんの一部にも保険適用
- ⑦NHK のがん見落とし報道

県議会・行政への実績アピール

埼玉県教育委員会と県立高校特別授業についての実績や今後の事業拡大の要望について意見を交わしました。また、さいたま市教育委員会と 3D 画像解剖学体験の新事業について意見を交わしました。

公益活動

例年通り、各支部では各市町村で行われる「健康祭り」へ積極的な参加を行っており、併設された被ばく相談などでは県民から高い評価を得ております。

県立高校での「放射線特別授業」は、継続事業となっております。県立高校の授業の一環として教壇に立ち、文部科学省のカリキュラムに沿って診療放射線技師会が授業を担務しているというのは、非常に意味のあることです。また委員会を立ち上げ、この事業に関わる会員の皆さまの研鑽の場となると確信しております。

さらには、学術大会市民公開講座として、小中学生を対象とした 3D 画像解剖学体験を開催しました。実際のワークステーションに触れていただき、3D 画像の作成を体験してもらおうという企画です。将来の職業をこれから決める小中学生を対象とし、医療だけでなく、画像処理の仕事を知っていただく機会になったと思います。

名誉会員の承認

本会へ多大な貢献があった会員として濱守 誠氏を名誉会員に推薦させていただきました。ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

学術活動

各モダリティで認定講習会を開催し、基礎からハイレベルまで対応した、きめ細かな内容となっています。これまでの事業は継続し発展していきます。

会員の育成

埼玉では、以前から講師育成に取り組んでまいりました。埼玉の会員が他学会、他県技師会などで多くの人材が活躍しております。近年では、国際学会へ発表する診療放射線技師が増えてきており、今後は技師会としてバックアップを行い、人材の育成に取り組んでまいります。

役員の育成

技師会で学び育った人材が各施設でリーダーシップを発揮し、さらに人材育成をしていただくことは技師会の役目でもあります。昨年は役員研修会で「気づき」と題して、物事を多面からとらえる発想について学びました。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシューズセミナーでは県内外から多数の参加者があり、会員入会促進事業として毎年継続していきたいと考えています。

今年度の役員研修会は、田中会長に進行をお願いしていくつかのテーマを元に役員の皆さまと意見交換を行いました。常務理事のみならず、支部理事の皆さまも日ごろ疑問に思うことなど、忌憚ない意見交換ができました。

永年勤続表彰事業は、日本診療放射線技師会より委託されている 30 年、50 年の対象者を抽出し返信いただいた会員の方々を日本診療放射線技師会に推薦致しました。表彰は北海道の函館で開催された学術大会にて行われました。埼玉県診療放射線技師会の 20 年、40 年永年勤続表彰は、対象者となる会員の方々を表彰委員会に推薦致しました。こちらの表彰は当会定期総会にて行われました。

恒例となりました新年当初の新春の集いは、会員・賛助会員・新入会員が一堂に会し、例年同様和やかに開催されました。

いずれの事業におきましても会の事業としては継続の必要性があると考えております。

2) 学術

学術活動において、会員が参加したいイベントが、身近に開催していることが大切と考えています。また最新なことのみではなく、診療放射線技師として基本的な内容を掘り下げていくことも本会の役割と思っています。本会においては、10 年以上前から読影に関してもセミナーを通じて

教育のカリキュラムに取り込んでまいりました。平成 22 年 4 月付、厚生労働省医政局通知にもあったように、診療放射線技師の読影の補助ということが社会的に重要視されるようになったことは、本会としても教育指針に関して、方向は整合性が取れていると考えています。本年度学術事業の方向性に関しては、昨年と同様に考え進めてまいりました。近年、外部環境は各種認定制度や専門技師制度が確立されつつあり、周囲の状況を踏まえ、各セミナーおよび講習会を開催してまいりました。本年認定講習会は、胸部認定講習会・上部消化管検査認定講習会・CT 認定講習会を開催しました。胸部認定講習会においては、診療放射線技師の読影やデジタル画像における撮影線量の最適化の講義を充実させました。上部消化管検査認定講習会・CT 認定講習会においては、それぞれの認定機構や地域研究会との整合性を図り開催しました。また内容に関しても充実し、実践的な教育をしてまいりました。その他、Freed セミナー、MRI 基礎講習会、DR 計測セミナー、乳腺画像セミナー、救急撮影ケーススタディーを開催し、参加者が得られました。

3) 編集・情報

埼玉放射線 Vol.65No.2・3・4、Vol.66.No.1 の計 4 号を発刊しました。編集・情報活動は、本会活動の中でも重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」は、平成 26 年から発行回数が年 4 回となりましたが、その分、内容をさらに充実させることへ力を注ぎました。

Web サイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針の下、多岐にわたる情報を発信しました。また県民の方が閲覧しても有益なよう、医療被ばくについての解説や、放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確な情報を専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これら Web サイトの他、定期的に会員向けメールマガジンの配信を行いました。Web サイトやメルマガは即時性の高い情報提供手段と考えています。

2016 年 4 月より企画班を設けました。主な役割は会誌の学術関係の企画です。今年は学術大会の企画なども行いました。今後は、会員のために充実した魅力ある技師会・会誌になるよう務めていきたいと考えます。

4) 公益

- 平成 29 年度本会公益活動として
- ・埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布
- ・各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定
- ・ホームページからの被ばく相談（実績 5 件）
- ・がん患者支援チャリティ・イベントとして RFLJ 川越へ参加
- ・放射線特別授業（埼玉県内の高校へ放射線関連の授業を行う）を 2 校 3 回実施

- ・放射線特別授業准講師養成講習会（実績 1 回）を行ってきました。

公益活動は「不特定かつ多数のものの利益」と考えられがちですが、内閣府の公益認定等委員会では、公益活動は対象が特定または少数であることが問題なのではなく、その活動が「求められているか」と受益の機会が「開かれているか」という 2 点をポイントとしています。この 2 点から平成 29 年度公益活動を振り返り、地域住民ひいては県民とわれわれ診療放射線技師をつなぐ懸け橋としてだけでなく、医療に携わる者としての意識向上とチーム医療推進のために医療関係職種との交流を持った活動を展開していく所存であります。

2. 事業遂行評価

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会 ○
- イ. 胸部認定講習会 ○
- ウ. 上部消化管検査認定講習会 ○
- エ. フレッシュアップセミナー（SART セミナー） ○
- オ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー ○
（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成）
- カ. CT 認定講習会 ○
- キ. MRI 基礎講習会 ○
- ク. 乳腺セミナー ○
- ケ. DR 計測セミナー ○
- コ. 救急撮影ケーススタディー ○
（日本救急撮影技師認定機構との共催）
- サ. 読影力向上のための講習会 ○
（支部開催セミナー）
- シ. 業務拡大に伴う統一講習会 ○

(2) 会員講師の育成と体制づくり ○

(3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進

- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力 ○
- イ. 埼玉県医師会主催事業への支援 ○
- ウ. 埼玉臨床画像研究会への協力 ○
- エ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画 ×
- オ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画 ○
- カ. 各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進） ○

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携 ○
- (2) 入会促進事業の強化 ○

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊 ○
- (2) 市民公開講座の開催 ○
- (3) 地域自治体主催事業への参加 ○
- (4) 医療画像展の開催と支援 ○
- (5) 県民向けホームページの充実 ○

- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応 ○
- (7) 公立学校における放射線教育の担務 ○
- (8) 技師会事務所近隣住民に対する公益事業 ×
- (9) 3D 画像解剖学体験 ○

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実 ○
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実 ○
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報 ○
 - イ. 学術データベースの充実 ○
- (3) メールマガジンの有効利用 ○

5 その他

- (1) 他職種（医師など）の職能団体との連携 ○
- (2) 技師会事務所長期修繕計画の立案 ○
- (3) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力 ○

平成 29 年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 平成 29 年度役員は次のとおり。

役 職 名	氏 名	担 当	
会 長	田中 宏		
副 会 長	堀江 好一		
	富田 博信		
監 事	橋本 里見		
	鈴木 正人		
常 務 理 事	結城 朋子	総 務	
	城處 洋輔	総 務	
	潮田 陽一	財 務	
	今出 克利	学 術	
	八木沢英樹	編 集・情 報	
	佐々木 健	公 益	
理 事	双木 邦博	総 務・第一支部	
	大西 圭一	総 務・第二支部	
	山岸 正和	総 務・第三支部	
	齋藤 幸夫	総 務・第四支部	
	矢崎 一郎	総 務・第五支部	
	山口 明	総 務・第六支部	
		寺澤 和晶	学 術
		山田 智子	学 術
		中根 淳	学 術
		清水 邦昭	編 集・情 報
		芦葉 弘志	公 益

(2) 会議開催状況

ア. 総会

第 6 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を平成 29 年 6 月 18 日（日）、埼玉会館 7 階会議室において会員 50 人出席、有効委任状提出 618 人、合計 668 人にて開催しました。総会では平成 28 年度事業報告案、平成 28 年度決算報告案、平成 28 年度監査報告、および名誉会員の承認などについて審議し決議しました。

イ. 理事会は下記の通り 8 回開催し、重要案件について審議し決議しました。

理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 05. 11	技師会事務所
2	29. 06. 01	同
3	29. 06. 18	同
4	29. 07. 06	同
5	29. 09. 07	同
6	29. 11. 02	同
7	30. 01. 11	同
8	30. 03. 01	同

ウ. 常務理事会は下記の通り 4 回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理しました。

常務理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 04. 06	技師会事務所
2	29. 10. 05	同
3	29. 12. 07	同
4	30. 02. 01	同

エ. その他

役員研修会、連絡会議ならびに予算会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理しました。

役員研修会

	年 月 日	開 催 場 所
1	30. 02. 09	With You さいたま埼玉県男女共同参画推進センター

連絡会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 04. 27	技師会事務所
2	29. 06. 29	同
3	29. 08. 31	同
4	29. 10. 26	同
5	30. 02. 22	同

予算会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	30. 02. 22	技師会事務所

北関東地域会長会議

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 06. 24	ホテルメルパルク長野
2	29. 12. 02	大宮ソニックシティ

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は次のとおり。

委 員 会 名	開 催 年 月 日
編 集 情 報 委 員 会	29. 04. 04
	29. 06. 07
	29. 06. 18
	29. 09. 05
	29. 09. 13
	29. 11. 09
	30. 02. 08
	30. 03. 08
企 画 班 委 員 会	29. 05. 17
	29. 11. 15
	30. 03. 16
学 術 委 員 会	29. 04. 24
	29. 06. 28
	29. 10. 04
	29. 12. 04
	30. 02. 19
	30. 03. 28
公 益 委 員 会	29. 07. 18
	30. 01. 23
放 射 線 特 別 授 業 運 営 委 員 会	公益委員会と合同

表彰委員会

	年 月 日	開 催 場 所
1	29. 06. 28	技師会事務所
2	30. 01. 29	技師会事務所

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役 職 名	氏 名
委 員 長	藤間 英雄
委 員	小島 精一 渡辺 弘
同	鈴木 正人 田中 宏
同	堀江 好一 富田 博信
同	結城 朋子 城處 洋輔

イ. 医療画像展実行委員会 (秩父会場)

役 職 名	氏 名
実 行 委 員 長	横田 文克
副実行委員長	齋藤 幸夫
実 行 委 員	清水 浩和 萩原 貴之
同	新井 偉生 大野 渉
同	高井 太市 豊田 薫
同	勅使河原真由美
同	三上 紀之

ウ. 医療画像展実行委員会 (浦和区会場)

役 職 名	氏 名
実 行 委 員 長	双木 邦博
実 行 委 員	野々浦成美 金子 瑤平
同	大小原 梢 室井 大志
同	西田 衣理 戸澤 僚太
同	鈴木 優太 八木沢英樹
同	安本 佳章 坪 あずさ
同	野崎秋香里 鎌田 靖男

エ. 医療画像展実行委員会 (川越会場)

役 職 名	氏 名
実 行 委 員 長	山岸 正和
実 行 委 員	佐藤 正彦 轟 圭介
同	森下 勝 中田 智仁
同	橋本利恵子 市川 隆史
同	中村 美紀 新井 舞
同	野中 春菜

オ. 医療画像展実行委員会（越谷市会場）

役職名	氏名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	岩井 悠二 眞壁 耕平
同	矢部 智 村本 圭祐
同	金子 初穂 中嶋 幸孝
同	長坂 純 栗田 幸喜

コ. 企画班（編集・情報委員会）

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	大西 圭一 河原 剛
同	舘林 正樹 眞壁 耕平
同	渡辺 嵩広

カ. 医療画像展実行委員会（行田会場）

役職名	氏名
実行委員長	齋藤 幸夫
副実行委員長	清水 浩和
実行委員	新井 偉生 横田 文克
同	高井 太市 大野 渉
同	柏瀬 義倫 萩原 貴之
同	長谷川英治 浅見 純一

ク. 学術委員会

役職名	氏名
委員長	今出 克利
副委員長	寺澤 和晶 山田 智子
同	中根 淳
委員	栗田 幸喜 大森 正司
同	城處 洋輔 大根田 純
同	土田 拓治 近藤 敦之
同	滝口 泰徳 伊藤 寿哉
同	亀山 枝里 富田 博信
同	佐々木 健 佐藤 浩彰

キ. 医療画像展実行委員会（伊奈町会場）

役職名	氏名
実行委員長	山口 明
副実行委員長	茂木 雅和
実行委員	牧 隆史 中村 聖
同	茂木健太郎 大久保麻優
同	畠山 祥一 芦葉 弘志
同	仲西 一真 飯島 竜
同	安川 紘平 猪瀬 康弘
同	矢野 健太 小野寺将真

シ. 公益委員会

役職名	氏名
委員長	佐々木 健
副委員長	芦葉 弘志
委員	志藤 正和 矢島 慧介
同	内海 将人 眞壁 耕平
同	豊留 章裕 紀陸 剛志
同	石田 仁子 坂本 里紗
同	大河原侑司

ク. 医療画像展実行委員会（春日部会場）

役職名	氏名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	岩井 悠二 眞壁 耕平
同	矢部 智 石原 優希
同	金子 初穂 中嶋 幸孝
同	長坂 純 栗田 幸喜

ス. 総務・財務委員会

役職名	氏名
委員長	結城 朋子
副委員長	城處 洋輔 潮田 陽一
委員	堀江 好一 富田 博信
同	双木 邦博 大西 圭一
同	山岸 正明 齋藤 幸夫
同	矢崎 一郎 山口 明
同	田中 達也 矢部 智
同	佐々木 剛

ケ. 編集・情報委員会

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	肥沼 武司 潮田 陽一
同	宮崎 雄二 豊留 章裕
同	吉田 敦 大友 哲也
同	渡部 伸樹 堀越 隆之

セ. 総会運営委員会

役職名	氏名
委員長	萩原 隆之
委員	栗原 真 遠藤 真理
同	新堀 隆男 長坂 純
同	倉内 克憲

ソ. 総会実行委員会

役職名	氏名
委員長	田中 宏
副委員長	堀江 好一 富田 博信
委員	結城 朋子 城處 洋輔
同	潮田 陽一 今出 克利
同	八木沢英樹 佐々木 健

タ. 第32回埼玉県診療放射線技師学術大会実行委員会

役職名	氏名
大会長	田中 宏
実行委員長	今出 克利
副実行委員長	堀江 好一 富田 博信
委員	結城 朋子 芦葉 弘志
同	城處 洋輔 栗田 幸喜
同	田中 達也 矢部 智
同	肥沼 武司 清水 邦昭
同	宮崎 雄二 渡邊 城大
同	渡部 伸樹 山岸 正和
同	土田 拓治 佐々木 健
同	中根 淳 矢崎 一郎
同	双木 邦博 齋藤 幸夫
同	佐々木 剛 近藤 敦之
同	矢島 慧介 寺澤 和晶
同	亀山 枝里 大西 圭一
同	山口 明 滝口 泰徳
同	伊藤 寿哉 眞壁 耕平
同	尾形 智幸 山田 智子
同	志藤 正和 潮田 陽一
同	八木沢英樹 内海 将人
同	佐藤 浩彰 大森 正司
同	堀越 隆之 大友 哲也
同	豊留 章裕 紀陸 剛志
同	大河原侑司 坂本 里紗
同	石田 仁子 館沼理保奈

(5) 表彰

- ア. 叙勲瑞宝双光章受賞（敬称略）
石川 昇
- イ. 保健衛生知事表彰（敬称略）
吉村 保幸
- ウ. 公衆衛生功労知事表彰（敬称略）
宮澤 浩治、萩元 孝
- エ. 公衆衛生事業功労者（財）日本公衆衛生協会会長表彰（敬称略）
諸澄 邦彦、新井 均
- オ. (公社) 日本診療放射線技師会表彰
 - 1) 功労表彰（敬称略）
田中 宏
 - 2) 永年 50 年勤続者表彰（敬称略）
新井 俊吉
 - 3) 永年 30 年勤続者表彰（10 人、敬称略）
松田 恵雄、小林 悟史、村田 保、清水 雅明
鈴木 俊昭、内田 恒、西井 律夫、吉田 克己
菊地 栄、吉田 真一
- カ. (公社) 埼玉県診療放射線技師会表彰
 - 1) 永年 40 年勤続者表彰（3 人、敬称略）
新井 均、清水 文孝、小柳 洋二
 - 2) 永年 20 年勤続者表彰（12 人、敬称略）
市川 隆史、松本 茂、湯浅 知儀、田口 博敏
鈴木 幸司、野崎 晃彦、吉川 昌宏、轟 圭介
八木沢英樹、清水 邦昭、平松 俊造、脇谷 正行

(6) 物故者（3 人、敬称略）

齋藤 修一、服部 浩、阿部 靖

(7) 会員の動向（平成 29 年 3 月 31 日現在）

項目	会員数
平成 28 年度末 会員数	1,210 人
平成 29 年度 新入会者数	86 人
同 再入会者数	6 人
同 転入者数	10 人
同 転出者数	10 人
同 退会者数	54 人
平成 29 年度末 会員数	1,248 人

(8) 平成 29 年度賛助会員 21 社（順不同）

- シーメンスヘルスケア株式会社
- GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- 東芝メディカルシステムズ株式会社
- 株式会社三田屋製作所
- 株式会社日立製作所
- 株式会社メディカル・サービス T&K
- コニカミノルタジャパン株式会社
- 第一三共株式会社
- カイゲンファーマ株式会社
- 富士フィルムメディカル株式会社

日本メジフィジックス株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン
バイエル薬品株式会社
富士フイルム RI ファーマ株式会社
日本放射線防禦株式会社
株式会社ドクターネット
ケアストリームヘルス株式会社
株式会社サイカンシステム
ホスピタルサプライジャパン株式会社
株式会社東日本メディカル
島津メディカルシステムズ株式会社

本間雅人（熊谷生協病院）
野口洋一（上尾中央総合病院）

- (7) 平成 29 年度上部消化管検査認定試験
開催日時：平成 30 年 2 月 18 日（日）
場 所：技師会センター 2 階会議室
参加者：6 人
指導員：該当者なし
準指導員：高瀬 正人（埼玉医科大学総合医療センター）
山口 恵利（西大宮病院）
竹内 直美（財団法人啓明会中島病院）
浅野 友彦（大宮双愛病院）

2. 学術教育活動報告

(1) 第 16 回胸部認定講習会

講 師：佐々木健、清水達也、土田拓治、滝口泰徳、
染野智弘、柴俊幸

開催日時：平成 29 年 12 月 3 日（日）

場 所：上尾中央総合病院

参加者：21 人

(2) 第 17 回上部消化管検査認定講習会

講 師：志田智樹、清水達也、工藤安幸、飯山雅巳、
今出克利、大森正司、水谷勝

開催日時：平成 30 年 1 月 28 日（日）

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：21 人

(3) 第 9 回 CT 認定講習会～入門編～

講 師：富田博信、中根淳、城處洋輔

開催日時：平成 29 年 8 月 30 日（水）

場 所：浦和コミュニティセンター 第 13 集会室

参加者：29 人

(4) 第 9 回取得者向け CT 認定講習会

講 師：富田博信、中根淳、城處洋輔

開催日時：平成 29 年 8 月 30 日（水）

場 所：浦和コミュニティセンター IT 教室

参加者：5 人

(5) 第 9 回 CT 認定講習会

講 師：富田博信、八木沢英樹、染野智弘、中根淳、
志藤正和、城處洋輔、柴俊幸、寺澤和晶

開催日時：平成 30 年 1 月 21 日（日）

場 所：済生会川口総合病院

参加者：38 人

(6) 平成 29 年度胸部認定試験

開催日時：平成 30 年 1 月 27 日（土）

場 所：技師会センター 2 階会議室

参加者：20 人

指導員：該当者なし

準指導員：岡藤由香（上尾中央総合病院）

西田衣里（済生会川口総合病院）

阿部 聡（岡病院）

戸澤僚太（済生会川口総合病院）

茂木大哉（上尾中央総合病院）

(8) 平成 29 年度 CT 認定試験

開催日時：平成 30 年 2 月 16 日（金）

場 所：浦和コミュニティセンター IT 研修室

参加者：14 人

指導員：該当者なし

準指導員：和田 樹昂（上尾中央総合病院）

小幡 忠司（柏厚生総合病院）

森田 祐介（熱海所記念病院）

(9) MRI 基礎講習会（JART 基礎技術講習）

講 師：浜野洋平、渡邊城大、佐藤 広崇、渡部進一
池田欣正、宿谷俊郎

開催日時：平成 29 年 11 月 12 日（日）

場 所：済生会川口総合病院

参加者：63 人

(10) 第 6 回 Freed セミナー

講 師：佐々木健

開催日時：平成 29 年 12 月 2 日（土）

場 所：上尾中央総合病院

参加者：27 人

(11) DR 計測セミナー

講 師：堀切直也、土田拓治、滝口泰徳、森一也、

開催日時：平成 30 年 2 月 4 日（日）

場 所：済生会川口総合病院

参加者：9 人

(12) 乳腺セミナー

講 師：土田拓治、高橋美香、岡田智子、長島萌子
尾形智幸、亀山枝里、赤坂未波、田中宏、

開催日時：平成 30 年 1 月 14 日（日）

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：37 人

(13) 救急撮影ケーススタディー

講 師：伊藤寿哉、河田諄人、吉澤俊祐

開催日時：平成 30 年 3 月 17 日（土）

場 所：さいたま赤十字病院

参加者：16 人

3. 編集・情報・企画班 活動報告

(1) 編集活動報告

平成 29 年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」を第 65 巻 248 号から第 66 巻 251 号まで、計 4 回発刊致しま

した。第65巻248号では、誌上講座：安全なMRI検査のために～環境づくり～「～新人技師自動育成計画～」「プロトコルを考える～基礎からの腰椎MRI～」。

連載企画：「院内勉強会活動報告～救急医療画像カンファレンスの開催～」。

249号では、誌上講座：2016年度支部合同勉強会 in kumagaya 「～頭頸部外傷性疾患～」 「外傷（胸部～骨盤腔）」 「内因性大血管疾患のCT画像から見て取れるもの」 「～みのがすと一大事！腹部疾患～」 「～腹部領域～」。

学術大会テクニカルディスカッション抄録：「画像誘導放射線治療（IGRT）の基礎」「リニアックのIGRT」「TomoTherapyのIGRT」。

250号では、誌上講座：平成28年度SART・TART地区合同勉強会 骨軟部撮影セミナー2017「機能解剖を考える上肢撮影～手関節～」 「誰でも簡単スカイラインビューの実践～再撮影防止に向けて～」 「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント～画像から見た撮影ポイントと画像から診た読影ポイント～」 「臨床に適した画像処理選択の基本～四肢撮影を中心に～」。

連載企画：「放射線検査に対して院内の取り組み～放射線・MRI安全利用について～」 「Selenia Dimensionsの使用経験～トモシンセシスの有用性～」。

第66巻251号では、誌上講座：平成28年度SART・TART地区合同勉強会 骨軟部撮影セミナー2017「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」「外傷診療における救急撮影の基礎」「みんなで創ろう救急撮影法」。

連載企画：「済生会栗橋病院における勉強会の取り組み」「MRIの性能評価～T1値・T2値の測定～」 「第32回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集」。

また前年度に続き、協賛企業の方々に「技術解説」をご執筆いただき、多くの方から内容について好評をいただきました。

(2) 情報活動報告

ア. 「会員向けHP」

- 1) 学術案内 (115件)
- 2) 巻頭言 (4件) 250号まで
- 3) 会誌 (5件) 243～247号まで
- 4) お知らせ (29件)
- 5) 学術データベース (0件)
- 6) 第32回埼玉県診療放射線技師学術大会開催案内

イ. 「一般向けHP」

- 1) 「会誌・バックナンバー」 243～247号まで
- 2) リレーフォーライフジャパン開催案内 (1件)

ウ. 「メールマガジン配信」

- 1) 7件 no.82からno.88まで
- 2) 登録8件

(3) 企画班活動報告

ア. 会誌企画

- 1) 会誌2017年5月248号
誌上講座：安全なMRI検査のために～環境づくり～
「～新人技師自動育成計画～」 「プロトコルを考える～基礎からの腰椎MRI～」
- 2) 会誌2017年7月249号

誌上講座：2016年度支部合同勉強会 in kumagaya 「～頭頸部外傷性疾患～」 「外傷（胸部～骨盤腔）」 「内因性大血管疾患のCT画像から見て取れるもの」 「～みのがすと一大事！腹部疾患～」 「～腹部領域～」

学術大会テクニカルディスカッション抄録：「画像誘導放射線治療（IGRT）の基礎」「リニアックのIGRT」「TomoTherapyのIGRT」

3) 会誌2017年10月250号

誌上講座：平成28年度SART・TART地区合同勉強会

骨軟部撮影セミナー2017「機能解剖を考える上肢撮影」「誰でも簡単スカイラインビューの実践」「大腿骨頸部骨折の撮影・読影ポイント」「臨床に適した画像処理選択の基本」

連載企画：「Selenia Dimensionsの使用経験～トモシンセシスの有用性～」

4) 会誌2018年1月251号

誌上講座：平成28年度SART・TART地区合同勉強会 骨軟部撮影セミナー2017「上腕骨顆上骨折症例における再撮影の検討」「外傷診療における救急撮影の基礎」「みんなで創ろう救急撮影法」

4. 新春の集い

開催日時：平成30年1月12日（金） 19：00～21：00

会場：大宮サンパレス GLANZ「ストーリーア」

参加者：会員39人、賛助会員33人、新入会員21人、合計93人

5. 役員・委員研修会

開催日時：平成30年2月9日（金） 18：45～20：15

場所：With You さいたま埼玉県男女共同参画推進センター 視聴覚セミナー室

参加者：20人

6. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

7. 公益活動

(1) 医療画像展

ア. 秩父市保健センターまつり

開催日時：平成29年6月4日（日）

場所：秩父市保健センター

被ばく相談：1件

イ. リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017川越

開催日時：平成29年9月16日（土）～17日（日）

場所：川越市水上公園

ウ. 越谷市民祭り

開催日時：平成29年10月8日（日）

場所：越谷市役所庁舎内

エ. 彩の国いきいきフェスティバル

- 開催日時：平成 29 年 10 月 22 日（日）
場 所：埼玉県民活動総合センター
- オ. 深谷市福祉健康まつり
開催日時：平成 29 年 10 月 29 日（日）
場 所：深谷市総合体育館
- カ. 川越市健康まつり
開催日時：平成 29 年 10 月 29 日（日）
場 所：ウエスタ川越
- キ. 浦和区健康まつり 2017
開催日時：平成 29 年 11 月 5 日（日）
場 所：浦和コミュニティセンター
- ク. 行田市健康フォーラム 2017
開催日時：平成 29 年 12 月 3 日（日）
場 所：行田市「みらい」ホール
- ケ. ふれあいキューブフェスティバル
開催日時：平成 29 年 12 月 9 日（土）～10 日（日）
場 所：東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」
- (2) 被ばく相談
ア. 各支部医療画像展、リレー・フォー・ライフ川越にて開催
イ. ホームページにて 5 件
- (3) 放射線特別授業
ア. 寄居城北高等学校
開催日時：平成 29 年 6 月 19 日
イ. 松山高等学校
開催日時：平成 29 年 11 月 29 日
ウ. 准講師養成講習会
開催日時：平成 29 年 10 月 23 日（月）
19:00～21:00
会 場：埼玉県診療放射線技師会事務所
参 加 者：7 人

8. 支部報告

第一支部

支部理事	双木 邦博	
監 事	宮澤 浩治	
役 員	八木沢英樹	三橋 則行
	佐藤 吉海	土田 拓治
	森 一也	西田 衣里
	千代岡直家	石井 聖人
	鎌田 靖男	田村 智將
	大塚 忠義	川島 慶太
	酒井 利幸	北原 弘治

- (1) 救急セミナー（第一支部開催）
開催日時：平成 29 年 9 月 29 日（金）19:00～
場 所：浦和コミュニティセンター 13 集会室
参加人数：14 人
内 容：BLS 講習
- (2) 浦和区健康まつり 2017
開催日時：平成 29 年 11 月 5 日（日）10:00～15:00

- 場 所：浦和コミュニティセンター
参加事業：超音波式骨密度測定
医療画像展
放射線検査の啓発・説明
実行委員：13 人
測定人数：402 人
- (3) 支部役員会
開催日時：平成 29 年 11 月 7 日（火）19:00～
場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター
参加人数：9 人
- (4) 平成 29 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷。
開催日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）13:00～18:00
場 所：森林公園四季の湯温泉 ホテル・ヘリテイジ
参加人数：142 人
- (5) 第 2 回地区勉強会
開催日時：平成 30 年 1 月 26 日（金）19:00～
場 所：浦和コミュニティセンター 15 集会室
参加人数：32 人
内 容：
「アントンセン I 法の撮影方法変更とその結果」
東川口病院 後藤 敬明
「トモシンセシスについて 装置概要と症例」
東川口病院 鎌田 靖男
「我々診療放射線技師に技師連盟は必要か？」
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 副会長
日本診療放射線技師連盟 理事
富田 博信
- (6) 第 3 回地区勉強会&会計報告
開催日時：平成 30 年 3 月 13 日（火）19:00～
場 所：浦和コミュニティセンター 13 集会室
参加人数：29 人
内 容：
「Azurion バイプレーン装置の頭部領域における有用性」
IGT モダリティスペシャリスト 作田 啓太
「Philips MR 最新鋭アプリケーション-頭部領域を中心に-」
MR モダリティスペシャリスト 石田 真美子
「脳血管内治療用デバイスの情報」
日本ストライカー 盛 寛昌
「川口市立医療センターの脳卒中の検査」
川口市立医療センター 千代岡直家
- 第二支部
会 長（支部理事） 大西 圭一
会 計 栗原 真
小田島明子
監 事 仲埜 智文
役 員 瀧澤 誠 近藤 忠晴
山下 隆行 矢幅 俊一
小沢 利行 篠原 貴紀
邨井 優大

協力員 武田 義昭

(1) 第1回勉強会

開催日時：平成29年4月27日(木) 18:30～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参加人数：34人
内 容：

- ア. 製品紹介
「フィリップス MRI の最新情報」
フィリップスエレクトロニクスジャパン 井上 泰吉
- イ. 一般研究発表
座長 防衛医科大学校病院 近藤 忠晴
 済生会川口総合病院 森 一也
「散乱線補正処理を用いた画像の物理評価と視覚評価」
 埼玉医科大学病院 堀切 直也
「フィリップス 3.0T MRI の使用経験」
 フィリップスエレクトロニクスジャパン 井上 泰吉
- ウ. 「Q & A でステップアップ～あなたの疑問はみんなの疑問?～」
 座長 上尾中央総合病院 内田 瑛基
 講師 所沢ハートセンター 柴 俊幸

(2) 第2回勉強会

開催日時：平成29年5月25日(木) 18:30～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参加人数：35人
内 容：

- ア. 製品紹介
「ITEM の SIREMENS CT 最新情報」
シーメンスヘルスケア株式会社 松浦 孝俊
- イ. 一般研究発表
「当院における医療安全の取り組み～ヒヤリハットについて～」
 丸山記念総合病院 松田 繁尚
「当院における医療安全の取り組み～疑義照会について～」
 丸山記念総合病院 野口 祐輔
「最新アプリケーション情報」
 シーメンスヘルスケア株式会社 松浦 孝俊
- ウ. 「いまさらきけない薬剤師による3つの話
～造影剤アナフィラキシーショック・ジェネリック医薬品・乳癌治療薬について～」
 座長 防衛医科大学校病院 近藤 忠晴
 講師 防衛医科大学校病院 薬剤部 相澤 雄介

(3) 第3回勉強会

開催日時：平成29年6月22日(木) 18:30～
場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
参加人数：58人
内 容：

- ア. 製品紹介
「AMULET Innovality」
富士フィルムメディカル株式会社 大島 裕二
- イ. 一般研究発表

座長 埼玉医科大学病院 堀切 直也
 原田病院 瀧澤 誠

- 「造影 CT 検査時の血管外漏出への対策」
 三郷中央総合病院 寺島 宰
- 「スピンラベリング法を用いた非造影 MRA による腎動脈描出における撮影条件の最適化」
 さいたま市立病院 佐藤 吉海
- 「新画像処理技術の紹介 ダイナミック処理」
 富士フィルムメディカル株式会社 大島 裕二

- ウ. 「胸部一般撮影について」
 座長 上尾中央総合病院 佐々木 健
- 1) 「撮影技術について」
 上尾中央総合病院 滝口 泰徳
- 2) 「撮影線量適正化について」
 済生会川口総合病院 森 一也
- 3) 「読影について」

熊谷総合病院 清水 理乃

(4) 循環器 CT セミナー 2017 (第2支部・バイエル薬品共催)

開催日時：平成29年8月26日(土)
場 所：浦和コソココミュニティプラザ
参加人数：219人
内 容：

- ア. 基礎講演「患者ファーストのための循環器救急の ABC」
座長 彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和
 講師 三井記念病院 皆川 利浩
- イ. ランチョンセミナー「心臓 CT 最新技術報告」
 座長 小川赤十字病院 高井 太市
 講師
 フィリップスエレクトロニクスジャパン 守谷 芽実
 シーメンス・ジャパン 松浦 孝俊
 東芝メディカルシステムズ 穴見 和寛
 GEヘルスケア・ジャパン 紫藤 尚利

- ウ. セッション I
 座長 石心会川崎幸病院 石田 和史
 「明日から使える CTA テクニック～基本の基本～」
 越谷市立病院 関根 貢
 「身につく分かりやすい心電図～基本から救急まで～」
 埼玉医科大学病院 戸矢 雅人
 「冠動脈を診るために逐次近似再構成をどう活かすか～被ばくと分解能から考える FIRST の実力～」
 AIC 八重洲クリニックつくば画像診断センター 吉田 論史

- エ. セッション II
 「Revolution CT による循環器診療」
 座長 東京女子医科大学附属成人医学センター 飯村 浩
 講師 江戸川病院 佐藤 英幸
- オ. 技術講演

「循環器疾患における治療支援画像について」

座長 AIC 八重洲クリニック 館林 正樹
 済生会川口総合病院 荻野 奈規
 講師 華岡青洲記念心臓血管クリニック 山口 隆義
 カ. 特別講演

「急性冠動脈症候群と冠動脈 CT」

座長 江戸川病院 佐藤 英幸
 講師 藤田保健衛生大学 元山 貞子

(5) 第4回勉強会

開催日時：平成 29 年 9 月 28 日 (木) 18:30～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：26 人
 内 容：

ア. 製品紹介

「インプラントによる金属アーチファクト低減技術」
 GE ヘルスケア MR 営業推進部 近江 公司

イ. 「整形外科領域の撮影技術向上を目指して」

1) 一般撮影

「膝関節立位荷重撮影について～X線所見の取り方から撮影条件の最適化まで～」

座長 防衛医科大学校病院 野瀬 英雄
 講師 上尾中央総合病院 渋江美香

2) CT

「診療に役立つ膝関節 CT のスヌメ～撮影技術と再構成画像の提供～」

座長 越谷市立病院 村本 圭祐
 講師 上尾中央総合病院 井田 篤

3) MRI

「病変把握がポイント！手関節 MRI」

座長 トワーム小江戸病院 菅野 勝
 演者 埼玉医科大学病院 堀切 直也

(6) 第5回勉強会

開催日時：平成 29 年 10 月 26 日 (木) 19:00～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：26 人
 内 容：

ア. 一般研究発表

座長 川越胃腸病院 吉村 公一
 埼玉石心会病院 庄谷 宗嗣
 済生会川口総合病院 眞壁 耕平

「コロンフォートにおける前処置の検討」

三郷中央総合病院 市村 孝幸

「PCI 支援ソフトウェアを用いた被ばく低減の検証」

済生会川口総合病院 岡田 翔太

「治療計画 CT における physiodynamics を用いた 4DCT の被ばく低減の基礎的検討」

さいたま赤十字病院 池野 裕太

イ. 特別講演

「CT 検査における医療安全～造影剤の適正使用について～」

座長 埼玉石心会病院 邨井 優大

講師 第一三共株式会社 造影剤担当 手塚 一明

(7) 平成 29 年度 SART 支部合同勉強会 in 熊谷 (第 1・2・3・4・5・6 支部合同勉強会)

開催日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土) 13:00～18:00
 場 所：森林公園四季の湯温泉ホテルヘリテージ
 参加人数：142 人

内 容：

ア. 「救急・時間外 CT の基本症例～技師から医師へのアプローチ～」

オブザーバー 小川赤十字病院 田中 達也
 上尾中央総合病院 金野 元樹
 AIC 八重洲クリニック 館林 正樹
 済生会川口総合病院 土田 拓治

コメンテーター

彩の国東大宮メディカルセンター 茂木 雅和
 座長 済生会川口総合病院 鈴木 友里
 イムス三芳総合病院 上野 浩輝
 埼玉医科大学総合医療センター 細井 慎介
 熊谷総合病院 吉田 敦
 獨協医科大学埼玉医療センター 天早 峻
 指扇病院 石川 直哉

1) 頭頸部外傷性疾患 (第一支部)

済生会川口総合病院 戸澤 僚太

2) 頭頸部内因性疾患 (第二支部)

イムス三芳総合病院 高田 博邦

3) 胸腹部外傷性疾患 (第三支部)

埼玉医科大学国際医療 センター 小濱 大

4) 乳腺疾患 (第四支部)

熊谷総合病院 亀山 枝里

5) 腹部内因性疾患 (第五支部)

越谷市立病院 村本 圭祐

6) 肝疾患 (第六支部)

彩の国東大宮メディカルセンター 小野寺 将真

イ. 技師講演

「被ばく線量気にしていますか？～線量管理して下さるか～」

座長 上尾中央総合病院 吉澤 俊祐

1) 「被ばく低減施設認定～認定前と認定後の職員の意識～」

小川赤十字病院 高井 太市
 三郷中央総合病院 長坂 純

2) 「線量管理ツールの一例 (CT 編) と実践～ドーズウォッチの使用経験～」

上尾中央総合病院 内田 瑛基

3) 「DRL 調査のアンケート結果報告と今後」

済生会栗橋病院 内海 将人

ウ. 特別講演

「若いうちに身につけておきたいデザイン思考」

座長 上尾中央総合病院 仲西 一真
 済生会川口総合病院 森 一也

講師 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

(8) 第6回勉強会

開催日時：平成29年11月30日(木) 19:00～
 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター
 参加人数：18人
 内 容：

ア. 教育講演

「明日から実践しよう～当院における医療安全への取り組み～」

座長 埼玉県済生会川口総合病院 眞壁 耕平
 上尾中央総合病院 高橋 康昭

1) 「放射線治療」

埼玉医科大学病院 小堺 裕章

2) 「消化管検査」

行田中央総合病院 浅見 純一

イ. 特別講演

座長 三郷中央総合病院 長坂 純
 講師 済生会栗橋病院 内海 将人

(9) 骨軟部撮影セミナー2018 (SART・TART 支部合同勉強会)

開催日時：平成30年2月17日(土)
 場 所：済生会川口総合病院 東館講堂
 参加人数：100人
 内 容：

ア. 一般演題

座長 船橋市立医療センター 石塚 瞬一
 堀ノ内病院 小池 正行

「新しい画像処理パラメータの画質評価」

済生会川口総合病院 内藤 完大

「当院における最大後屈撮影」

さいたま市立病院 金子 瑠平

「撮影室での安全な移乗～脊椎損傷者のトランスファー～」

国立障害者リハビリテーションセンター 肥沼 武司

「整形外科領域におけるEI値による至適撮影条件の管理法」

済生会川口総合病院 岡田 翔太

「重力ストレス撮影による足関節回外外旋骨折の評価」

上尾中央総合病院 茂木 大哉

「当院における全脊椎撮影」

獨協医科大学埼玉医療センター 宇津木 克弥

イ. メーカーセッション

座長 さいたま赤十字病院 大河原侑司

1) 富士フィルムメディカル株式会社 岡 律朗

2) コニカミノルタジャパン 窪谷 大樹

3) キヤノンライフケアソリューションズ株式会社
 伊藤 琢也

ウ. MRIセッション

座長 東京警察病院 古河 勇樹

「脊椎MRIの基礎」

東京メディカルクリニック 荒木 智一

「日常検査から考える脊椎MRI-更なるスキルアップのために-」

済生会川口総合病院 丸 武史

エ. 小児撮影セッション

座長 さいたま赤十字病院 渡部 伸樹

「小児外傷撮影と固定方法」

埼玉県立小児医療センター 持田 朋之

「当院における小児全身骨撮影項目の検討-子ども虐待対応・医学診断ガイドをふまえて-」

埼玉医科大学病院 新井 舞

オ. DRセッション

座長 獨協医科大学埼玉医療センター

高橋 利聡

「DRLを測定してみても～整形領域～」

さいたま市立病院 福田 栞

「散乱線補正処理技術の活用法」

埼玉医科大学病院 堀切 直也

カ. 教育講演

座長 越谷市立病院 村本 圭祐

上尾中央総合病院 仲西 一真

「良肢位を考慮した肩関節撮影」

春日部市立医療センター 工藤 年男

キ. 特別講演

「脊椎専門医からみた画像検査の役割」

座長 済生会川口総合病院 土田 拓治

講師 済生会川口総合病院 坂井 顕一郎 先生

第三支部

会 長 (支部理事) 山岸 正和

副会長 森下 勝

会 計 中田 智仁

役 員 佐藤 正彦 轟 圭介

橋本利恵子 市川 隆史

監 事 今井 昇

(1) 第1回 支部役員会

開催日時：平成29年4月17日(月) 18:30～19:00

場 所：埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室

参加人数：8人

内 容：今年度事業計画について

(2) 第1回 勉強会

開催日時：平成29年6月23日(金)

19:00～20:30

場所：ウェスタ川越 会議室1

参加人数：48人

内 容：

ア. 技師講演

「MRIの正常 or 異常所見」

埼玉医科大学国際医療センター 岡部 一弥

「脳血管内治療に必要な基礎」

埼玉医科大学国際医療センター 堰 裕一

- イ.メーカー講演
「新しいCT用インジェクター“CT motion”のご紹介」
株式会社インテグラル 宮本 賢吾
- (3) 第2回 支部役員会
開催日時：平成29年6月23日(金) 20:40～21:40
場 所：ウエスタ川越 活動室1
参加人数：7人
内 容：納涼会、川越健康まつり、納涼会、ホームページ作成など
- (4) 第31回 川越市健康まつり 第1回実行委員会
開催日時：平成29年7月10日(月) 14:30～15:30
場 所：川越市総合保健センター3階研修室
参加人数：20人
内 容：開催場所、タイムスケジュールなど
- (5) 第三地区 納涼会
開催日時：平成29年7月22日(土) 19:30～21:30
場 所：エビス本川越
参加人数：35人
内 容：会員の親睦を深める
- (6) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 川越リーダー会議
開催日時：平成29年8月19日(土) 18:00～20:00
場 所：小江戸蔵里ギャラリー
参加人数：5人(公益、支部)
内 容：リレー・フォー・ライフ チーム説明会
- (7) 第31回 川越市健康まつり 第2回実行委員会
開催日時：平成29年8月24日(木) 13:15～14:30
場 所：川越市保健所2階大会議室
参加人数：22人
内 容：開催場所、タイムスケジュールなど
- (8) 第3回 支部役員会
開催日時：平成29年9月5日(火) 19:00～20:30
場 所：埼玉医科大学国際医療センター核医学検査室
参加人数：6人
内 容：リレー・フォー・ライフ担当、ボウリング大会、支部合同勉強会、川越市健康まつりなど
- (9) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 川越
開催日時：平成29年9月16日(土) 13:00～17日(日) 13:00
場 所：川越市水上公園
参加人数：32人(第三地区会員)
内 容：公益事業協力
- (10) 第31回 川越市健康まつり 第3回実行委員会
開催日時：平成29年9月26日(火) 13:15～15:00
場 所：川越市総合保健センター3階研修室
参加人数：20人
内 容：開催内容説明、タイムスケジュールなど
- (11) 第三地区ボウリング大会
開催日時：平成29年10月13日(金) 19:00～20:30
場 所：川越ボウリングセンター
参加人数：28人
内 容：会員の親睦を深める
- (12) 第4回 支部役員会
開催日時：平成29年10月13日(金) 20:30～21:00
場 所：川越ボウリングセンター内 会議室
参加人数：7人
内 容：ボウリング大会反省会、支部合同勉強会 川越市健康まつりについて
- (13) 第31回 川越市健康まつり
開催日時：平成29年10月29日(日) 10:00～15:00
場 所：ウエスタ川越 多目的ホール
参加人数：10人(地区会員含む)
来場者約：約287人(医療画像展)
内 容：医療画像展の開催
- (14) 第3回埼玉CTコロノグラフィミーティング
開催日時：平成29年11月2日(木) 19:00～21:15
場 所：ウエスタ川越
- (15) 支部合同勉強会催
開催日時：平成29年11月18日(土) 13:00～
場 所：ホテルヘリテイジ四季の湯温泉
参加人数：142人
内 容：支部発表(症例検討)、技師講演(被ばく線量管理)、特別講演、懇親会
- (16) 第31回 川越市健康まつり 事業報告会
開催日時：平成29年12月20日(水) 13:15～14:30
場 所：川越市保健所 2階大会議室
参加人数：18人
内 容：第31回川越市健康まつり事業報告 実行委員会設置要綱改訂について
- (17) 平成30年新春の集い
開催日時：平成30年1月12日(金)
場 所：大宮サンパレス グランツ
- (18) 第5回 第三地区役員会
開催日時：平成30年1月18日(木) 19:00～20:30
場 所：埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室
参加人数：7人
内 容：新年会、勉強会、地区定期総会など
- (19) 第三地区新年会
開催日時：平成30年1月27日(土)
場 所：川越市 エルミタージュ
参加人数：39名
内 容：会員の親睦を深める
- (20) 第6回 支部役員会
開催日時：平成30年3月7日(水) 19:00～20:00
場 所：埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室
参加人数：8人
内 容：平成30年度事業計画、地区総会について
- (21) 平成29年度 第三支部・地区定期総会
開催日時：平成30年3月16日(金) 19:00～19:30

場 所：ウエスタ川越 第1会議室
 参加人数：29人（委任状提出156人：議長一任156人）
 内 容：定期総会審議事項
 審議-1：平成29年度事業報告__審議結果：承認
 審議-2：平成29年度決算報告__審議結果：承認
 審議-3：平成30年度事業計画案__審議結果：承認
 審議-4：平成30年度予算案について__審議結果：承認

(22) 第3回 支部勉強会

開催日時：平成30年3月16日（金）19：30～21：00
 場 所：ウエスタ川越 第1会議室
 参加人数：29人
 内 容：
 ア.メーカー講演
 「コニカミノルタ画像処理エンジンREALISMの紹介」
 コニカミノルタジャパン株式会社 村岡 丈到
 イ.技師講演
 「散乱線補正処理技術の活用法」
 埼玉医科大学病院 堀切 直也

第四支部

会 長（支部理事） 齋藤 幸夫
 副会長 清水 浩和
 会 計 大野 渉
 役 員 萩原 貴之 新井 偉生
 横田 文克 高井 太市
 柏瀬 義倫
 監 事 山田 伸司 玉川 敏

(1) 第1回 支部役員会、引き継ぎ会

開催日時：平成29年4月28日（金）19：00～20：00
 場 所：熊谷総合病院
 参加人数：10人

(2) 第1回 支部勉強会

開催日時：平成29年5月25日（木）18：30～21：00
 場 所：さくらめいと 第1会議室
 参加人数：50人
 内 容：

「ITEM2017 報告」
 (CT・MRIを中心とした最新情報提供とVNDMのご紹介)

東芝メディカルシステムズ（株）
 関東支社営業推進部 CT担当 穴見 和寛
 MRI営業部 MRI担当 後藤 和馬
 関東支社 営業推進部 MedicalInformatics
 担当 清水 鉄平

「私が受けた新人教育～急性虫垂炎～」
 深谷赤十字病院 放射線科部 小島 萌
 「参加型遠隔読影運用+α」
 小川赤十字病院 放射線科部 村田 雅弘
 「CTCの使用経験」
 秩父病院 放射線科部 近藤 和彦

(3) 第2回 支部役員会

開催日時：平成29年5月25日（木）21：00～21：30
 場 所：さくらめいと 第1会議室
 参加人数：7人

(4) 清水文孝氏厚生労働大臣表彰祝賀会

開催日時：平成29年6月2日（金）18：30～
 場 所：埼玉グランドホテル深谷「ダイヤモンド」
 参加人数：187人

(5) 医療画像展（秩父市保健センターまつり）

開催日時：平成29年6月4日（日）10：00～14：00
 場 所：秩父市保健センター
 内 容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボール釣りなど

実行委員：13人
 骨密度測定、パネル展示、モニター展示：300人
 スーパーボール釣り：150人
 被ばく相談：1人

(6) 平成29年度 第四支部 納涼会

開催日時：平成29年7月28日（金）19：00～
 場 所：旬彩ダイニング 浪漫 熊谷市宮前町2-95
 参加人数：61人

(7) 第2回 支部勉強会

開催日時：平成29年9月14日（木）18：30～20：30
 場 所：さくらめいと 第1会議室
 参加人数：61人
 講義内容：

椎体領域MRIについて
 座長 小川赤十字病院 山田 伸司

「症例検討」
 転移性脊椎腫瘍 深谷赤十字病院 富田 欣治
 圧迫骨折 羽生総合病院 鯨井 昇
 椎間板ヘルニア 小川赤十字病院 高井 太市
 椎体の基礎～骨化症について～ 熊谷総合病院 田中 智大

(8) 第3回 支部役員会

開催日時：平成29年9月14日（木）20：30～21：00
 場 所：さくらめいと 第1会議室
 参加人数：7人

(9) 石川昇氏瑞宝双光章受章祝賀会

開催日時：平成29年9月16日（土）18：00～
 場 所：熊谷市銀座1-64
 マロウドイン熊谷「飛天」
 参加人数：139人

(10) 医療画像展（深谷市福祉健康まつり）

開催日時：平成29年10月29日（日）10：00～15：00
 場 所：深谷ビクタートル・深谷市総合体育館
 内 容：台風のため中止

(11) 支部合同勉強会 in 熊谷

開催日時：平成29年11月18日（土）～19日（日）

場 所：森林公園 四季の湯温泉ホテル・ヘリテージ
 参加人数：142人
 講演内容：
 開会挨拶 第二支部理事 大西 圭一

ア. 支部合同症例検討会
 コメンテーター 彩の国東大宮 M.C 茂木 雅和
 支部座長
 第一支部 済生会川口総合病院 鈴木 友理
 第二支部 イムス三芳総合病院 上野 浩輝
 第三支部 埼玉医科大学総合医療センター
 細井 慎介

第四支部 熊谷総合病院 吉田 敦
 第五支部 獨協医科大学越谷病院 天早 峻
 第六支部 指扇病院 石川 直哉

「読影力アップでスキルアップ」

第一支部 埼玉県済生会川口総合病院
 戸澤 僚太
 第二支部 イムス三芳総合病院 高田 博邦
 第三支部 埼玉医科大学総合医療センター
 小濱 大
 第四支部 熊谷総合病院 亀山 枝里
 第五支部 越谷市立病院 村本 圭祐
 第六支部 彩の国東大宮メディカルセンター
 小野寺将真

イ. 技師講演

座長 上尾中央総合病院 吉澤 俊祐
 「被ばく線量気にしていますか？」
 ～線量管理してますか～

被ばく低減施設認定

～認定前と認定後の職員の意識～

小川赤十字病院 高井 太市
 三郷中央総合病院 長坂 純
 線量管理ツールの一例 (CT 編) と実践

～ドーズウォッチの使用経験～

上尾中央総合病院 内田 瑛基
 埼玉版 DRL のアンケート調査と今後
 済生会栗橋病院 内海 将人

ウ. 特別講演

座長 済生会川口総合病院 森 一也
 上尾中央総合病院 仲西 一真
 「若いうちに身につけておきたいデザイン思考」
 埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳
 閉会挨拶 第六支部理事 山口 明
 合同勉強会懇親会 司会進行 根岸 亮平

(12) 平成 29 年度 第四支部 忘年会
 開催日時：平成 29 年 12 月 1 日 (金) 19:00～
 場 所：マロウドイン熊谷
 参加人数：86人

(13) 医療画像展 (行田市健康フォーラム 2017)
 開催日時：平成 29 年 12 月 3 日 (日) 10:00～16:00
 場 所：行田市「みらい」ホール

内 容：骨密度測定、パネル展示、被ばく相談
 実行委員：10人
 骨密度測定、パネル展示：100人
 被ばく相談：0人

(14) 第 3 回 支部勉強会
 開催日時：平成 30 年 1 月 25 日 (木) 18:30～21:00
 場 所：さくらめいと 第 1 会議室
 参加人数：53人
 内 容：

座長 羽生総合病院 大野 渉
 Revolution CT における Snap shot Freeze と
 Smart Phase の有用性
 熊谷総合病院 小貝 将之
 Revolution HD 使用経験
 深谷赤十字病院 齋藤 幸夫
 Small Giants Of An Offensive CT Room
 ～攻めの CT 室～

小川赤十字病院 田中 達也
 (15) 第 4 回 支部役員会
 開催日時：平成 30 年 1 月 25 日 (木) 21:00～21:30
 場 所：さくらめいと 第 1 会議室
 参加人数：8人

(16) 萩元孝氏公衆衛生功労知事表彰祝賀会
 開催日時：平成 30 年 2 月 10 日 (土) 18:00～
 場 所：熊谷市銀座 1-64
 マロウドイン熊谷「飛天」
 参加人数：66人

(17) 平成 29 年度 SART 支部合同勉強会
 骨軟部撮影セミナー 2018
 ～更なるスキルアップを目指して～
 開催日時：平成 30 年 2 月 17 日 (土) 9:50～18:30
 場 所：埼玉県川口市西川口 5-11-5
 済生会川口総合病院 講堂 (B1)
 参加人数：100人

(18) 平成 29 年度 第四支部 監査会
 開催日時：平成 30 年 2 月 23 日 (金) 19:00～
 場 所：熊谷総合病院
 参加人数：10人

(19) 第 4 回支部勉強会・平成 29 年度第四支部総会
 開催日時：平成 30 年 3 月 15 日 (木) 19:00～20:30
 場 所：さくらめいと 第 1 会議室
 参加人数：34人
 講演内容：技師連盟の現状報告
 深谷赤十字病院 角田 喜彦
 定期総会

第五支部

支部理事 矢崎 一郎
 支部役員 岩井 悠二 眞壁 耕平
 鈴木 孝 石原 優希
 矢部 智 村本 圭祐

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 金子 初穂 | 中嶋 幸孝 | 超音波事業本部 | 西山 永峰 |
| 矢作 悠馬 | 寺島 宰 | | |
| 町永 努 | 加藤 広一 | | |
| 長坂 純 | 中村 正之 | | |
- (1) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 4 月 27 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
整形領域における CT 画像診断
～ 3 次元画像処理を有効に使おう～
越谷市立病院 放射線科 村本 圭祐
基礎から学ぶ大動脈解離
越谷市立病院 放射線科 関根 貢
心電図の基礎
越谷市立病院 放射線科 矢部 智
- (2) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 5 月 25 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
急性膵炎における CT の役割
獨協医科大学越谷病院 放射線部 宇津木克弥
MRI による腹部領域の画像診断～膵臓～
獨協医科大学越谷病院 放射線部 押部 勇貴
- (3) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 6 月 15 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
Injector の安全性と情報管理
根本杏林堂 伊藤 健太
造影 CT 検査時の血管外漏洩時の対応
三郷中央総合病院 放射線技術科 木村 茉緒
造影 CT 検査時の血管外漏出への対策
三郷中央総合病院 放射線技術科 槇 風花
- (4) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 7 月 27 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
施設紹介
春日部市立医療センター 放射線科 金子 初穂
FDG-PET/CT 検査について
春日部市立医療センター 放射線科 生駒 光輝
全身リストモードを用いた画質安定化の検討 (PET)
春日部市立医療センター 放射線科 中西 充
- (5) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 9 月 28 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：シーメンスヘルスケア株式会社
シーメンス最新動向 マンモグラフィー及び乳腺エコー
マンモグラフィー
X-P 事業部 山田 恭子
乳腺エコー
- (6) 越谷市民祭り
開催日時：平成 29 年 10 月 8 日 (日)
場 所：越谷市役所庁舎内
- (7) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 10 月 26 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
MRI：最新技術の紹介 画質向上&短時間撮像
MR 製品担当 近江 公司
CT：Revolution Up Date
CT 製品担当 紫藤 尚利
- (8) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 11 月 30 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
最新 CT 情報のご紹介
東芝メディカルシステムズ (株) 関東支社
営業推進部 CT 担当 穴見 和寛
脳卒中における当院の治療方法と院内体制
草加市立病院 医療技術部 放射線科 町永 努
3D FSE を用いた頸動脈プラーク撮像での脂肪抑制法の
検討
草加市立病院 医療技術部 放射線科 加藤 広一
- (9) ふれあいキューブフェスティバル
開催日時：平成 29 年 12 月 9 日 (土) ～ 12 月 10 日 (日)
場 所：春日部市ふれあいキューブ
- (10) 支部情報交換会
開催日時：平成 29 年 12 月 14 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
当院における放射線治療について
新久喜総合病院 医療技術部 放射線科 茅野 将吾
image J を用いた IGRT 中心軸測定の QA について
新久喜総合病院 医療技術部 放射線科 石原 優希
- (12) 支部情報交換会
開催日時：平成 30 年 1 月 25 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：読影力向上を目指して
頭部領域：救急撮影の基礎～見逃したくない頭部疾患～
越谷市立病院 放射線科 西村 美咲
乳腺領域：乳腺疾患読影の基礎～腫瘍性病変について～
越谷市立病院 放射線科 丸山 理子
消化器領域：胃がんについて
越谷市立病院 放射線科 日高 真道
- (13) 支部情報交換会
開催日時：平成 30 年 3 月 23 日 (木)
場 所：春日部市市民活動センター
内 容：
ハイブリット手術室 Allura Clarity の運用について

獨協医科大学埼玉医療センター 放射線部
小長根 麻紀

当院におけるハイブリット手術室 CT

獨協医科大学埼玉医療センター 放射線部 齋藤 凌

第六支部

会 長 (支部理事) 山口 明
副会長 茂木 雅和
監 事 尾形 智幸 羽田野和仁
学 術 木村 浩明 仲西 一真
安川 紘平 春日 沙織
広 報 倉内 克憲
編 集 菅野みかり
総 務 藤巻 武義 鈴木 雄貴
会 計 徳田 光希 田中 里奈

(1) 支部役員会

開催日時：平成 29 年 6 月 9 日 (金)
場 所：埼玉県立小児医療センター
参加人数：12 人

(2) 平成 29 年度 第六支部第一回定期講習会

開催日時：平成 29 年 5 月 18 日 (木) 19:00～
場 所：さいたま赤十字病院
内 容：
ア. 「DRL を知り撮影線量最適化を図ろう！」
講 師：丸山記念病院 芦葉 弘志
イ. 「施設見学」
講 師：さいたま赤十字病院放射線科部スタッフ
参加人数：46 人

(3) 第六支部第一回技術交流会

開催日時：平成 29 年 6 月 29 日 (木) 19:00～
場 所：地域医療教育センター
内 容：
「心臓 CT について」
講 師：八重洲クリニック 館林 正樹
講 師：久我山病院 柴 俊幸
参加人数：56 人

(4) 第六支部納涼会

開催日時：平成 29 年 7 月 13 日 (木)
場 所：RESORT ダイニング AZZURRO
参加人数：33 人

(5) 支部役員会

開催日時：平成 29 年 7 月 13 日 (木)
場 所：さいたま赤十字病院
参加人数：11 人

(6) 平成 29 年度 第六支部第二回定期講習会

開催日時：平成 29 年 10 月 19 日 (木) 19:00～
場 所：地域医療教育センター
参加人数：50 人
内 容：
ア. 「救急撮影～知っておきたい急性期疾患～」
講 師：伊奈病院 沖杉 遼平

講 師：大宮中央総合病院 鈴木 雄貴
講 師：上尾中央総合病院 飯泉 隼
講 師：埼玉県立小児医療センター 持田 朋之

(7) 彩の国いきいきフェスティバル

開催日時：平成 29 年 10 月 22 日 (日)
場 所：埼玉県民活動総合センター
内 容：
「放射線展」

被ばく相談 3 人 骨密度測定 150 人
実行委員：14 人

(8) 支部合同勉強会 (熊谷大会)

開催日時：平成 29 年 11 月 18 日 (土)
場 所：ホテルヘリテージ熊谷
参加人数：142 人

(9) 忘年会

開催日時：平成 29 年 11 月 30 日 (木) 19:00～
場 所：CONA 大宮店
参加人数：40 人

(10) 支部役員会

開催日時：平成 30 年 1 月 18 日 (木)
場 所：埼玉県立小児医療センター
参加人数：8 人

(11) 支部合同勉強会 (骨軟部撮影セミナー)

開催日時：平成 30 年 2 月 17 日 (土) 9:30～
場 所：済生会川口総合病院
参加人数：100 人

(12) 埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会
及び平成 29 年度 第六支部第 3 回定期講習会

開催日時：平成 30 年 3 月 8 日 (木) 19:00～
場 所：地域医療教育センター
参加人数：42 人
内 容：
「発表スライドの作り方」
講 師：上尾中央総合病院 佐々木 健
講 師：済生会川口総合病院 森 一也

9. 研究会活動

(1) 埼玉医用乳房画像研究会活動報告

ア. 画像の向こうの患者を診よう
1) 第 60 回 症例検討会
開催日時：平成 29 年 4 月 18 日 (火)
参加人数：19 人
2) 第 61 回 症例検討会
開催日時：平成 29 年 5 月 16 日 (火)
参加人数：30 人
3) 第 62 回 症例検討会
開催日時：平成 29 年 6 月 13 日 (火)
参加人数：30 人
4) 第 63 回 症例検討会
開催日時：平成 29 年 7 月 25 日 (火)
参加人数：26 人

5) 第64回 症例検討会

開催日時：平成29年9月12日（火）

参加人数：12人

6) 第65回 症例検討会

開催日時：平成29年10月17日（火）

参加人数：21人

7) 第66回 症例検討会

開催日時：平成29年11月28日（火）

参加人数：36人

8) 第67回 症例検討会

開催日時：平成30年3月6日（火）

参加人数：25人

イ. 乳腺画像セミナー

開催日時：平成30年1月14日（日）

場 所：さいたま赤十字病院 2階 多目的ホール

参加人数：37人

(2) 埼玉消化管撮影研究会活動報告

ア. 第51回 埼玉消化管撮影研究会

開催日時：平成29年7月28日（金）

場 所：さいたま赤十字病院 2F 多目的ホール

参加人数：50人

講 師：田原正則、堀越隆之、工藤泰

イ. 第52回 埼玉消化管撮影研究会

開催日時：平成29年11月22日（水）

場 所：さいたま赤十字病院 2F 多目的ホール

参加人数：32人

講 師：志田智樹、池田圭介

ウ. 第53回 埼玉消化管撮影研究会

開催日時：平成30年1月28日（日）

場 所：さいたま赤十字病院 2F 多目的ホール

参加人数：41人

講 師：水谷勝、今出克利、大森正司

平成 29 年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. 石川昇氏を当会名誉会員として承認した。（議案書番号：理-1）（承認）
2. 平成 28 年度（公社）埼玉県診療放射線技師会永年勤続表彰対象者について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-2）（承認）
3. 胸部認定講習会開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-3）（承認）
4. 救急ケーススタディー開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-4）（承認）
5. 平成 29 年度 Freed セミナー開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-5）（承認）
6. 第 4 回 DR 計測セミナー開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-6）（承認）
7. 第 9 回 CT 認定講習会入門編・取得者向け講習会開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-7）（承認）
8. 第 9 回 CT 認定講習会開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（祈願書番号：理-8）（承認）
9. 平成 29 年度第 17 回上部消化管検査認定講習会開催について、内容および予算の資料を基に審議し開催を承認した。（議案書番号：理-9）（承認）
10. 新入会会員の承認について、審議し承認した。（議案書番号：理-10）（承認）
11. 浦和区健康まつりへの参画に際し、骨密度測定装置、のぼりの貸し出しおよび予算案について資料を基に審議し参画について承認した。（議案書番号：理-11）（承認）
12. 川越健康まつりへの参画に際し、予算の資料を基に審議し参画について承認した。（議案書番号：理-12）（承認）
13. 深谷市福祉健康まつりへの参画に際し、骨密度測定装置、のぼりの貸し出しおよび予算案について資料を基に審議し参画を承認した。（議案書番号：理-13）（承認）
14. 越谷市民祭りへの参画に際し、のぼりの貸し出しおよび予算案の資料を基に審議し参画を承認した。（議案書番号：理-14）（承認）
15. 新入会会員（5 月末日現在）の承認について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-15）（承認）
16. 平成 28 年度事業報告及び監査報告について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-16）（承認）
17. 平成 28 年度公益社団法人埼玉県診療放射線技師会決算報告について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-17）（承認）
18. 平成 29、30 年度 会長、副会長、常務理事の選任について審議し承認した。（議案書番号：理-18）（承認）
19. リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 川越の参加における予算案および展示パネルなどの貸し出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-19）（承認）
20. 平成 29 年度救急セミナー開催について審議し承認した。（議案書番号：理-20）（承認）
21. ぽぽら春日部 6 周年記念イベント参画に際し、医用画像展の開催および展示パネルの貸し出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-21）（承認）
22. 第 32 回埼玉県診療放射線技師学術大会開催テーマについて審議し承認した。（議案書番号：理-22）（承認）
23. 新入会の承認について審議し承認した。（議案書番号：理-23）（承認）
24. 彩の国いきいきフェスティバル参画に際し予算およびのぼり貸し出し、骨密度装置レンタル使用について審議し承認した。（議案書番号：理-24）（承認）
25. 行田市市民フォーラム 2017 に参画し医療画像展の開催に際し、骨密度測定装置および展示パネルなどの貸し出しについて審議し承認した。（議案書番号：理-25）（承認）

26. 放射線特別授業への准講師養成講習会開催について審議し承認した。(議案書番号：理-26) (承認)
27. 新入会の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-27) (承認)
28. 平成30年度表彰推薦者について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-28) (承認)
29. 乳腺セミナー開催について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-29) (承認)
30. 平成29年度役員研修会について、開催について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-30) (承認)
31. 新入会員(10月末日現在)の承認について、審議し承認した。(議案書番号：理-31) (承認)
32. 「柔道整復師法の一部を改正する法律案」に対する判定決議について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-32) (承認)
33. 賛助会員特典変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-33) (承認)
34. 講師謝礼に関する規定変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-34) (承認)
35. 旅費および日当等支払規程変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-35) (承認)
36. ホームページ新着情報の掲載順番の変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-36) (承認)
37. フレッシュアップセミナー(第20回SARTセミナー)開催について審議し承認した。(議案書番号：理-37) (承認)
38. 新入会会員の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-38) (承認)
39. 第21回秩父市保健センター祭りへの参画に際し医療画像展開催および骨密度測定装置、展示パネルの貸し出しについて審議し承認した。(議案書番号：理-39) (承認)
40. 平成30年度事業計画案について審議し承認した。(議案書番号：理-40) (承認)
41. 埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会(CT編)開催について審議し承認した。(議案書番号：理-41) (承認)
42. 埼玉県診療放射線技師会主催学術講演会(乳腺領域)開催について審議し承認した。(議案書番号：理-42) (承認)
43. ホームページ新着情報改修について審議し承認した。(議案書番号：理-43) (承認)
44. ホームページ上での各セミナー登録システム構築について審議し承認した。(議案書番号：理-44) (承認)
45. 会誌原稿料変更について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-45) (承認)
46. 新入会会員の承認について審議し承認した。(議案書番号：理-46) (承認)
47. 保有財産の用途について審議し承認した。(議案書番号：理-47) (承認)
48. 平成30年度当初予算について審議し承認した。(議案書番号：理-48) (承認)

平成 30 年度事業計画 10 年先の AI を見越して

10 年ほど前、EXPO などで披露されていた夢の技術が、今、次々と実用化されている。受付などで会話ができるロボットは、ホテルの受付などにレンタルされ、市民にとっても一般的になった。2 足歩行はおろか、走ることも難なく実現し、今後、介護の業界などで、人手が少ない現場で期待されている。また自動車業界では、自動運転技術はほぼ実用化され、交通事故減少にも期待されている。スマートスピーカーは、ほんの 10 年前まで夢の機能であったが、いとも簡単に一般家庭へ利用されるようになった。技術の進歩はもちろんであるが、これらの夢の技術が予想以上に早いスピードで、私たちの生活に普及していることに驚いている。医療技術も同様で、薬事の不要な受け付けや患者案内業務、巡回警備は、近い将来 AI が活躍するであろう。また読影の分野でも開発は進み、実用化が期待されている。

埼玉では、平成 11 年より機器管理・検査法・読影・臨床・病理といった、読影を含め基礎から臨床まで網羅した講習会を開催してきた。学術大会では読影コンテストを開催し、臨床画像の保有数は、おそらく全国でもトップクラスであると

誇っている。全国都道府県では、読影の補助の推進から読影のセミナーを活発に開催している。しかし、診療放射線技師の仕事は読影だけではない。もちろん読影の能力は必要であるが、画像診療全体を管理する上で必要な能力である。画像診療では、装置が変われば画像が変わり、保守管理の方法が変われば画像が変わる。また検査方法や手技が変わっても画像は変わる。将来、読影の AI が普及したとき、これら画像の管理を行い一定の画像を AI に提供すること、そして画像に変化が生じた際、AI から出された回答が正しいか判断する能力が求められる。

さらに、3D 画像の作成技術も重要な仕事である。作成した画像を AI が判定するのであれば、画像作成は術者によってどうにでも作成できる。臨床を知り、術式を知り、治療方針を知らなければ正確な判定材料は作成できない。

AI が日常医療技術に取り入れられたとき、私たちは AI に読み込ませる適確な画像を作成すること、AI が判定した結果を含めて画像および情報の全体を管理することが求められる。

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会に代わる講習会企画
 - イ. 埼玉県診療放射線技師支部合同秋季大会
 - ウ. 胸部撮影認定講習会
 - エ. 上部消化管検査認定講習会
 - オ. フレッシュアップセミナー(SART セミナー)
 - カ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー(医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
 - キ. CT 認定講習会
 - ク. MRI 基礎講習会
 - ケ. 乳腺セミナー
 - コ. DR 計測セミナー
 - サ. 救急撮影ケーススタディー(日本救急撮影技師認定機構との共催)
 - シ. 読影力向上のための講習会(支部開催セミナー)
 - ス. 業務拡大に伴う統一講習会
- ### (2) 会員講師の育成と体制づくり
- ### (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
 - イ. 日本診療放射線技師全国大会への協力
 - ウ. 埼玉県医師会主催事業への支援
 - エ. 埼玉臨床画像研究会への協力
 - オ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画

- カ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画
- キ. 各認定機構との合同企画(埼玉開催の推進)

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携
- (2) 入会促進事業の強化

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- (2) 市民公開講座の開催
- (3) 地域自治体主催事業への参画
- (4) 医療画像展の開催と支援
- (5) 県民向けホームページの充実
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応
- (7) 公立学校における放射線教育の担務

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報
 - イ. 学術データベースの充実
- (3) メールマガジンの有効利用

5 その他

- (1) 医師等他職種の職能団体との連携
- (2) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款

平成 24 年 4 月 1 日制定

平成 27 年 5 月 30 日改正

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この法人は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目 的)

第 3 条 この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 県民への放射線医療に関する知識の普及啓発事業
 - (2) 診療放射線学及び診療放射線技師の職業倫理高揚に関する研修会、研究会、講習会などの開催
 - (3) 放射線管理と医療被曝の適正化に関する事業
 - (4) 診療放射線学に関する調査、研究、情報提供及び指導
 - (5) 前各号に掲げる事業に関する図書、印刷物等の刊行
 - (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業は、埼玉県内にて行うものとする。

第 3 章 会 員

(種 別)

第 5 条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の事業に賛同して入会した個人
 - (2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得た個人
 - (3) 賛助会員 正会員の資格を有しないもので、この法人の事業に賛同して、理事会の承認を得た個人又は団体
- 2 前項の会員のうち正会員及び名誉会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(会員の資格の取得)

第 6 条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第 7 条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった次年度から毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。ただし、自己の療養又は親族の介護、育児その他やむを得ない事情により、診療放射線技師又は診療エックス線技師として現に業務に従事していない期間が継続して 1 年以上経過している正会員については、総会において別に定める基準に従って経費を支払う義務を免除することができる。

- 2 名誉会員は、前項における経費を負担することを要しない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2) 総会員が同意したとき。
- (3) 当該会員が死亡、又は解散したとき。

第4章 総会**(構成)**

第11条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第12条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬などの額に関する事項
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第14条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 正会員及び名誉会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 総会の議長は、当該総会において出席会員の中から選出する。

(議決権)

第16条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

第17条 総会の決議は、正会員及び名誉会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、正会員及び名誉会員の半数以上であって、正会員及び名誉会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第18条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

第19条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 15名以上20名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を会長とし2名を副会長、6名を常務理事とする。

3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。会長の選定及び解職をする場合において、理事会は、総会にこれを付議した上で、その決議の結果を参考にすることができる。

(理事の職務及び権限)

第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 会長、副会長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める役員報酬などの支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(相談役)

第26条 この法人に、任意の機関として、1名以上3名以下の相談役を置く。

2 相談役は、次の職務を行う。

(1) 会長の相談に応じること。

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。

3 相談役の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 前条の規定は、相談役の報酬等について準用する。

第6章 理事会

(構成)

第27条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

(常務理事会)

第29条 この法人に常務理事会を置く。

2 常務理事会は、会長、副会長及び常務理事をもって構成する。

3 常務理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。
- (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善についての意見を理事会に提出すること。

(招集)

第30条 理事会及び常務理事会は、会長が招集する。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会及び常務理事会を招集する。

(決議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計

(事業年度)

第33条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第34条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第35条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員及び名誉会員の名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事の名簿
- (3) 理事及び監事の報酬などの支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第36条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に

に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第38条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。
2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第10章 支部

(支部)

第42条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。

- 2 支部は第34条の事業計画書に基づき、当該支部に関する事業を執行する。
- 3 支部は第20条第1項の規定により、総会で理事を選任するにあたり、理事候補者の推薦をすることができる。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の会長は小川 清とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律の施行に伴う関係法律の整備などに関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第34条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程

会費規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第7条の規定に基づき、会費の納入に関し、必要な細則を定めるものとする。

第2条 会費は次のとおりとする。

正会員	年額 9,000円
賛助会員（個人）	年額 9,000円
賛助会員（法人）	年額 25,000円

第3条 前条の会費は、毎事業年度における合計額の30%以上を当該事業年度の公益目的事業に使用する。

第4条 会員は、毎事業年度、9月30日までに、会費年額の全額を納付しなければならない。

第5条 定款第7条第1項ただし書きの規定により、会費の免除の取扱いを受けようとする者は、所定の申請書を添えて、毎年度、本会に申請するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て総会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

この規程は、平成28年6月18日から施行する。

役員等の報酬並びに費用に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第25条に基づき、役員等の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員 理事及び監事をいう。
- (2) 役員等 役員及び会長から指名を受けた会員をいう。
- (3) 報酬等 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号に規定する報酬

等であって、次条及び第4条に規定するものをいう。

- (4) 費用 職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤手当、旅費（宿泊費を含む。）及び手数料等の経費をいう。

(報酬の額及び支給の方法)

第3条

理事の報酬は、理事会及び常務理事会の出席1回につき2,000円を上限とし、理事会で決定する。

2 監事の報酬は、年額111,370円を上限として、監事が協議して定める額とする。

3 前2項の規定にかかわらず、当該役員が報酬を辞退した場合は支給しない。

4 報酬は、四半期ごとに現金で支給する。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(講師及び原稿執筆謝金)

第4条 役員等が会長よりセミナー、研修会若しくはシンポジウムなどの会合における講師を委嘱されたとき又は原稿執筆を委嘱されたときは、別に定める「役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程」に基づき講師謝金又は執筆謝金を支給する。

(費 用)

第5条 本会は、役員等がその職務の遂行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

2 前項の費用は、現金で支払うものとする。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支払うものとする。

(公 表)

第6条 この規程をもって、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項の規定により報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改正)

第7条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程 (本会主催の講師謝金)

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の役員等が、本会主催の講演会、セミナー又はこれに類する会合（以下「講演会等」という。）の講師を務めたときは、その謝金として、1回につきその時間が30分以内のときは5,568円、1時間以内のときは11,137円を、1時間を超えるときは22,274円を支払うものとする。

(原稿執筆謝金)

第2条 役員等が、本会の発行する定期行物又は書籍の原稿を執筆したときは、1000字まで3,000円、それ以後1000字毎に1,000円を限度として執筆謝金を支払うことができる。

(支払い方法)

第3条 前2条の謝金は、当該講演又は入稿の後速やかに現金で支払うものとする。ただし、当該役員等から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(会員以外の者への謝金)

第4条 会員以外の者が本会の発行する定期行物若しくは書籍の原稿を執筆したときは、第2条に定める金額に100分の50を乗じた額を加算して支給する。

(改正)

第5条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第6条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

講師謝礼に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）が主催する診療放射線技師会または診療エックス線技師会を主な対象者とした、職業倫理高揚及び診療放射線学の向上に関する研修会、研究会、講習会等（以下、「研修会等」という。）の講師への謝礼について必要な事項を定めることを目的とする。

(謝礼の支払い)

第2条 謝礼は、研修会等1回ごとに、講師1人につき55,685円を上限として支払うものとする。

(旅費)

第3条 講師には、その自宅又は勤務地から研修会等の会場まで公共交通機関を使用した場合における交通費相当額を支給する。ただし、研修会等の会場の近辺に公共交通機関が存在しない等交通不便地の場合は、講師の自宅又は勤務地から当該会場に最も近い鉄道の駅までの交通費相当額に、当該駅から会場まで距離1kmごとに300円を乗じて得た額を加算して支給する。

(支給の方法)

第4条 謝礼及び旅費の支給日は研修会等の終了後とし、支給方法は所得税その他法令の規定に基づき控除すべき金額を控除し、その残額を現金又は当該講師の指定する銀行口座に振り込む方法により支給する。

(適用除外)

第5条 この規程は、本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合には適用しない。

2 本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合の謝礼

及び旅費に相当する金員の支給は、役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程に基づき支給するものとする。

(改正)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

(補則)

第7条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月8日から施行する。

旅費および日当等支払規程

(趣旨)

第1条 この規程は、委員会（編集委員会、学術委員会その他理事会の議決に基づき設置した委員会その他の組織をいう。以下同じ。）の会務（当該委員会の会議及び当該委員会の所掌する事務に関する活動であって、会長の許可を得たものをいう。以下同じ。）のために出張する当該委員会の構成員に支給する旅費及び日当について定めるものとする。

(旅費)

第2条 旅費は当該旅行のための移動方法の別にかかわらず、旅行開始場所から会務実施場所までの往復の旅程について、公共交通機関を用いて旅行した場合に生じる額を支給する。ただし、当該旅行の区間に公共交通機関による移動が不能な区間が含まれるときは、当該移動が不能な区間の旅費は、距離1kmごとに300円を乗じて得た額を支給するものとする。

第3条 会務に従事した場合は、当該委員会の構成員に日当を支給する。

2 前項の日当は、会務1日につき1,000円とする。ただし、理事会の議決を経て定めたものについては上限を3,000円として支給する。

第4条 旅費及び日当のほか、会務に関する学術大会、講習会等の開催及びその準備に係る役務費、消耗品費その他の経費であって委員会の構成員が立て替えたものは別に弁償する。

第5条 経費は、その都度現金により支払う。ただし、

当該委員会の構成員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

附則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

会員の登録等に関する規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第5条第1項、第6条及び第8条に基づいて、会員の入退会に関する細部手続について必要事項を定めることを目的とする。

第2条 本会に入会しようとする者は、診療放射線技師及び診療エックス線技師でなければならない。ただし、賛助会員はこの限りではない。

第3条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書を会長に提出するものとする。

第4条 理事会は、入会申込書に基づいてその諾否を審査し、入会承認を決定するものとする。

第5条 入会を承認したときは、会員原簿に登録するとともに、速やかに入会年月日を本人に通知するものとする。

2 入会を否認したときは、その理由を付して本人に通知するものとする。

第6条 会員の資格は、理事会が承認した日に始まり資格喪失した日に終わる。ただし、定款第10条(1)の要件が発生したときは、理事会の承認を経て資格を停止し、出版刊行物送付等を制限することがある。

第7条 会員は、入会申込書記載の住所、氏名、勤務先に変更を生じたときは、速やかに届け出るものとする。

第8条 会員は次の特典を享受することができる。

(1) 本会が保有する会議室を優先して利用することができる。

(2) 本会が刊行する会誌を無料で配布を受けることができる。

(3) メーリングリストに登載し、メール等による情報提供を受けることができる。

(4) 本会が主催、共催する研修会、セミナー等に割

引料金を参加することができる。

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付し、退会届を本会に届け出るものとする。

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成24年12月5日から施行する。

役員選出規程

第1章 総 則

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員の選出は、定款第21条に基づき、この規程により行うものとする。

第2章 選挙管理委員会

第2条 役員を選出するときは、理事会の承認を得て、選挙管理委員会を設けるものとする。

第3条 選挙管理委員会は、正会員のなかから選出して構成し、委員長は互選とする。

2 役員及び選挙の立候補者は、選挙管理委員にはなれない。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

- (1) 選挙の公示
- (2) 役員の立候補者届の受理、資格審査及び立候補者氏名の公示
- (3) 投票及び開票の管理ならびに当選の確認
- (4) 総会において選挙結果の報告
- (5) その他選挙管理に必要な事項

第5条 選挙管理委員の任期は2年とする。

第3章 役員の選挙

第6条 理事、監事に立候補しようとする個人、又は推薦しようとする支部は、所定の様式により選挙管理委員会に届け出るものとする。ただし、推薦の場合は本人の同意を必要とする。

第7条 立候補又は推薦の届出締切りは、総会の2か月前とする。

第8条 選挙は、立候補届のあった者について、総会に出席した会員によって行うものとする。

第9条 投票は、出席会員の無記名投票により行うものとする。

第10条 投票は、次の順序によって行う。

(1) 理 事

(2) 監 事

第11条 当選者は、それぞれ有効投票数を得た者から、高点順に定める。

第4章 無投票当選

第12条 各選挙を通じ、締切日を経過しても立候補者が役員定数を超えないときは、総会において無投票により当選者を定めるものとする。

第5章 異議申し立て

第13条 選挙に関する異議は、選挙終了後14日以内に選挙管理委員会に文章をもって申し立てることができる。

第6章 立候補ならびに当選の取消

第14条 役員立候補者が、選挙公報など選挙に関する事項について、重大な虚偽の申告を行ったことが明らかになった場合は、選挙管理委員会の決議により立候補または当選を取り消すことができる。

第15条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

総会運営規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の総会運営を民主的かつ能率的に運営することを目的として定める。

第2条 前条の目的を達成するために、総会運営委員会を設けるものとする。

第3条 前条の委員会は、正会員のなかから6名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

第4条 総会運営委員会は、総会の付議に基づき、次のことを協議し、その承認を得て運営する。

- (1) 議長団の選出の方法
- (2) 議事日程及び進行
- (3) 総会出席会員の資格審査
- (4) その他総会運営について必要な事項

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

表彰規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条の事業を遂行するにあたり、顕著な功績のあった者の表彰に関する事項と、関係団体からの推薦依頼に関する諸条件について定める。

(条件)

第2条 表彰の対象となる者は、次の各号に該当することを条件とする。

- (1) 本会に15年以上在籍し、かつ会費を完納している者
- (2) その他、会長が適当であると認めた者

(種類)

第3条 表彰に関する分類は次のとおりとする

- (1) 功労賞 本会に多大な貢献があった者、または本会役員の在任期間が4年以上を有している者
- (2) 学術奨励賞 保健医療に関する研究、発明、発見、考案を行った者
- (3) 学術新人賞 研究発表を積極的に行った概ね30歳未満の正会員
- (4) 叙勲、関係団体表彰候補
- (5) 永年勤続者
 - ア 20年以上放射線業務に従事した者
 - イ 40年以上放射線業務に従事した者
- (6) 特別賞 他の模範となる善行があった者

(推薦)

第4条 受賞者の推薦は正会員又は名誉会員が行う。

(選考)

第5条 選考は表彰委員会が行い、委員会は会長、副会長、総務常務理事、および会長委嘱者5名の計10名で組織する。なお、会長委嘱者と委員長は役員外とする。

(決定)

第6条 表彰委員会は選考結果を理事会に答申し、決定は理事会にて行う。その他表彰に関する必要な事項についても理事会において決定する。

(内容)

第7条 表彰は表彰状と副賞を授与するものとする。

(実施)

第8条 表彰の実施は総会時に行うものとする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

表彰規程細則

(表彰の実施)

第1条 表彰に関わる旅費、交通費は旅費規程の対象外とする。

2 表彰者ならびに表彰の概要を本会会誌に掲載し広報する。

(予算)

第2条 表彰に関する予算は当該年度の予算から充当する。

(表彰枠)

第3条 表彰の種類に関わる表彰枠は次のとおりとする。

- (1) 学術奨励賞 若干名
- (2) 学術新人賞 若干名

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

互助規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の相互扶助を図るために定めたものである。

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

- (1) 会員に対する死亡弔慰金の給付

第3条 死亡弔慰金の金額は20,000円とする。

第4条 正会員の死亡退会の連絡を受けた場合、内容審査のうえ速やかに関係理事を通じて該会員の遺族に給付金を支給するものとする。

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会において決定するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

委員会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の運営に必要な委員会の設置基準を定め、本規定をもって定款第4条に基づく事業を、会長の指示に基づき能率的に遂行するための組織を整えることを目的とする。

(委員会の種別)

第2条 この規程に基づく委員会は、常設委員会及び特別委員会とする。

2 常設委員会は、本会の管理業務又は定例の事業を担当するものとし、次の各号のとおりとする。

- (1) 総務・財務委員会
- (2) 学術委員会
- (3) 編集・情報委員会
- (4) 公益委員会

3 特別委員会は、本会の運営上臨時に派生する問題、又は特別の事業の必要に応じ、会長が理事会の議決を経て、これを設けるものとする。

(構成及び選任)

第3条 前条の各委員会は、委員長、副委員長及び、若干名の委員により構成される。

2 前条第2項各号に規定する常設委員会における委員長への就任は、会長の指名により、常務理事が、これを分掌する。

3 前条第3項に規定する特別委員会の委員長は、会長の指名に基づき、全理事のなかからこれを選任し理事会にて承認する。

4 各委員会の副委員長は、当該委員長の指名に基づき、全理事のなかから選出し、理事会において承認の上、会長がこれを委嘱する。

5 各委員会の委員は、正会員又は名誉会員から当該委員長が推挙し、会長が委嘱する。

(職 務)

第4条 委員長は、当該委員会を代表し、その事務を総理する。

2 各委員は、当該委員長の求めにより、随時招集される所属委員会に出席し、付議事項の審議を行う他、委員長を補佐し、本会の事業計画の実行、又は問題の解決に努めなければならない。

3 委員長に不測の事態が起きた場合は、副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第5条 各委員会は、当該委員長が随時招集する。

2 各委員長は、委員会が開催される毎に、以下の内容について、簡潔明瞭な報告書（議事録）を作成し、これを会長及び、総務担当の常務理事（常務理事）に提出しなければならない。

- (1) 付議された事項
- (2) その審議内容
- (3) 審議結果

(理事会への報告)

第6条 各委員長及び、各委員長により分担指名された副委員長は、担当する管理業務又は事業の企画及び実施状況を理事会に報告しなければならない。

(規程の変更)

第7条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、状況により必要な事案が発生した場合は、会長が理事会に諮り定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成26年9月4日から施行する。

研究会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線

技師会（以下「本会」という。）定款第4条に基づき本会に研究会を設置する場合の手続きを定め、学術研究活動の促進を目的とする。

（定義）

第2条 この規程でいう研究会とは、前条に掲げた目的を達成するための学術研究を目的とする組織をいう。

（設置申請）

第3条 この規程に従い研究会の設立をしようとする正会員又は名誉会員は、研究会設置申請書（様式一研1）を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

（承認基準）

第4条 前条により研究会の設立承認をする場合、次の基準を満たしていなければならない。

- （1）学問領域としての専門性と主体性、かつ社会性が認められること
- （2）当該研究会の活動により県民が利益を得られること
- （3）本会が認可する研究会の幹事及び主たる構成員は本会会員であること

（解散及び廃止）

第5条 研究会は、研究会解散届（様式一研2）を会長に提出し、自主的に解散することができる。

2 理事会は前項のほか、前条の基準を満たさないと判断した場合、研究会を廃止することができる。

（名称）

第6条 研究会は、その名称とともに本会研究会であることを称することができる。

（活動）

第7条 研究会は、目的を達成するために自主的に活動するものとし、概ね次の活動を行う。

- （1）研究会を開催する
- （2）研究成果を学術大会等に発表する

（報告）

第8条 研究会は、毎年の活動状況を総会に報告する。

（助成）

第9条 本会は、認可した研究会の発展向上を図る目的で、研究会からの申請により、理事会の承認を得て、助成を行うことができる。

2 助成の規模及び方法は別途理事会で定める。

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

技師会センター運営規程

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）技師会センターは埼玉県診療放射線技師会事務所及び会議室で構成する。

第2条 この規程は、技師会センターの運用について規定する。

第3条 技師会センターの管理責任者は会長とする。会長はセンターの業務管理者を指名し、業務管理者がセンター運営業務を行う。

2 重要事項については理事会において審議する。

第4条 業務管理者はセンターの運営に関する全ての責任を有する。

（会議室の利用）

第5条 次に掲げる各号に適合する場合、会長の許可を得て技師会センターを利用することができる。

- （1）理事が主催する全ての会議、委員会、講習会等
- （2）本会会員が所属する団体で、会長が認めた会議等
- （3）その他、会長が特に認めた会議、講習会等

（使用手続）

第6条 前条のうち（1）に該当する場合を除き使用する者は、使用責任者を定め、別に定める「技師会センター使用許可申請書」を3週間前までに、所定の使用料金を添えて提出し、会長の許可を得なければならない。

（使用の優先）

第7条 使用は本会事業に関するものを優先し、第5条の順とする。

(使用料及び使用時間)

第8条 使用料及び使用時間は、第5条の(1)に該当する場合を除き、下記の規定によるものとする。

2 使用時間の区分及び使用料は次に定めるとおりとする。

- | | |
|-----------------|--------|
| (1) 09:00～12:00 | 2,000円 |
| (2) 13:00～17:00 | 2,000円 |
| (3) 18:00～21:00 | 2,000円 |
| (4) 09:00～17:00 | 4,000円 |
| (5) 13:00～21:00 | 4,000円 |
| (6) 09:00～21:00 | 5,000円 |

第10条 使用責任者は重大なる過失による使用中の火災設備等の毀損事故に対して責任を有するものとする。

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

理事の職務権限規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(以下「本会」という。)定款第21条に基づき、本会の理事の職務権限を定め、公益社団法人としての業務の適法、かつ効率的な執行を図ることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、理事とは、理事並びに代表理事たる会長並びに、業務執行理事たる副会長及び常務理事をいう。

(法令等の遵守)

第3条 理事は、法令、定款及びこの法人が定める規範、規程等を順守し、誠実に職務を遂行し、協力して、定款に定める本会の目的の遂行に寄与しなければならない。

(理 事)

第4条 理事は、理事会を組織し、法令及び定款の定めるところにより、本会の業務の執行の決定に参画する。

(会 長)

第5条 会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 代表理事として本会を代表し、その業務を執行する。
- (2) 理事会を招集し、議長としてこれを主宰する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(副会長)

第6条 副会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。
- (2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(常務理事)

第7条 常務理事の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 理事会が決める担当業務を分掌し、執行する。
- (2) 副会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(細 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、理事会の決議により別に定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

この規程は、平成24年12月5日から施行する。

互助給付金申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇支部理事 印

会員 氏に下記事項発生のため互助規程により見舞金を給付されるよう申請いたします。

記

勤務場所
氏名
当該事項
発生年月日
金額
理事の意見

会費免除申請書

申請日 平成 年 月 日

※会費規程第5条により、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会費免除の申請をいたします

申請者会員番号	
申請者名	印
連絡先	〒 電話
申請代理者氏名	印
<small>事情により本人が申請できない場合、ご署名下さい。</small>	
会費免除申請理由	(1) 自己の療養 (2) 介護 (3) 育児 (4) その他 ()
<small>※該当する申請理由に○をつけて下さい。</small>	
休業期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日まで <small>※ご職場に申請されている休業期間をお書き下さい。</small>
休業証明書の確認	有 ・ 無

※免除の対象となるのは、毎年度の会費を納入期限までに納めている会員に限ります。また、申請時に当年度の会費が納入されている必要があります。
※本申請には休業期間を証明する書類が必要となります。

事務処理欄

受付欄	
会費確認	

様式－研1

研究会設置申請書

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の設置を申請します。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 研究会構成員－別添名簿のとおり
(本会会員と他の区別がわかるような名簿)
- 5 研究分野、内容 (具体的に)
- 6 研究会履歴
- 7 助成申請の有無

様式－研2

研究会廃止届

平成 年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の廃止を届けます。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 廃止の理由
- 5 廃止の年月日

平成30年度当初予算

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

科目	公益目的事業会計			収益事業会計		法人会計	内部取引控除	合計	備考
	公1	公2	公3	共通	小計				
Ⅰ一般正味財産増減の部									
Ⅰ. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費	0	0	0	3,451,500	3,451,500	0	0	8,053,500	
正会員受取会費				3,294,000	3,294,000	0	0	7,686,000	@9000×1220
賛助会員受取会費				157,500	157,500	0	0	367,500	@25000×21
事業収益	690,000	0	800,000	0	1,490,000	410,000	0	1,900,000	
講習会受講料等収益	690,000	0			690,000			690,000	147セミナー参加料
学術大会参加登録費収益	0				0			0	@2000×0
会誌広告収益		0	800,000		800,000			800,000	@100000×2 @60000×10
福利事業収益									
貸付収益		0				410,000		410,000	倉庫2戸賃貸料
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	50,000	0	30,000	0	80,000	0	0	173,300	
受取利息								100	預金利息
雑収益	50,000	0	30,000		80,000			173,200	日放委託料 学術大会機器展示料 20,000円×0.8
経常収益計	740,000	0	830,000	3,451,500	5,021,500	410,000	0	8,226,800	
(2) 経常費用									
事業費									
給与手当	210,032	157,901	157,901	0	525,834	0		525,834	事務員給与按分
福利厚生費	308,920	75,000	0		383,920	0		383,920	医師研修費・講習会費 員昼食代
会議費	128,000	44,000	115,000		287,000	0		287,000	委員会会議費等
旅費交通費	268,000	296,000	102,000		666,000	0		666,000	委員会交通費・日当
通信運搬費	89,522	29,390	681,510		800,422	0		800,422	電話・ネット・郵送費等
減価償却費	505,067	168,356	168,356		841,779	26,012		867,791	
消耗什器備品費					0			0	
消耗品費	84,074	223,991	27,605		335,670	0		335,670	
修繕費	10,000	10,000	10,000		30,000	0		30,000	
印刷製本費			2,040,984		2,040,984	0		2,040,984	学術大会マニュアル 会誌印刷代等
光熱水料費	46,800	15,600	15,600		78,000	0		78,000	電気・ガス・水道
賃借料	201,820	51,325	87,600		340,745	0		340,745	会費費引一次料等
保険料	59,797	19,933	19,933		99,663	0		99,663	
諸謝金	1,592,663	94,514	146,000		1,833,177	0		1,833,177	講師料・原簿料等
租税公課	24,270	8,090	8,090		40,450	20,000		60,450	
支払手数料	3,240	3,240	8,208		14,688	8,000		22,688	
渉外費	5,000	5,000	5,000		15,000	0		15,000	
委託費			351,216		351,216	25,000		376,216	HP管理費
雑費	10,000	10,000	10,000		30,000	0		30,000	

